定例会情報

令和８年 第４回定例会（９月１日～９月25日）

本定例会は、令和８年度補正予算のほか、令和７年度歳入歳出決算などを審査するため９月１日から９月25日までの25日間の会期で開催しました。なお、上程された条例改正などの報告３件、議案14件、認定10件、意見２件、発議１件については、撤回議案を除き原案のとおり選任、可決、認定としました。

本会議、委員会審査での質疑応答の主なものは次のとおりです。すべての審議案件ではなく内容を集約して掲載しております。

公共交通に関すること

・議案第60号　飛騨市地域公共交通事業に関する条例の一部を改正する条例について

運転手不足により令和８年２月から全便臨時運休としていた月ケ瀬線の廃止に伴い、当該条例の改正を行うもの

Q 地域住民の不便解消や代替交通への対応は

A：通学児童生徒にはスクール便で対応し、高齢者にはタクシー利用や家族送迎で対応する

集落有集会施設に関すること

・議案第63号　飛騨市集落有集会施設整備支援基金条例について

集落集会施設整備に係る無利子の資金貸付制度を創設するため、基金を設置するもの

Q 基金額250万円の根拠は何か

A：地域からの相談を受けて対象となる地域の金額を想定し、この額で設定した

辺地計画に関すること

・議案第61号　稲越辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

道路整備と除雪機械整備に伴い、辺地対策事業債の予定額を超える変更を要するため議決を求めるもの

Q残り１年で増額の計画書を直すことになるが、事業として予定はあるか

A：現状ではない見込みであるが、国の財源内示率によって市の事業進捗が大きく変わるため、内示率に伴う事業の組み替えなどは今後起こり得る可能性がある

・議案第62号　山之村辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

林道整備について２つの事業を追加するため、辺地対策事業債の予定額を超える変更を要するため議決を求めるもの

Q林道整備に関する２つの事業を追加する理由は

A：路線としては計画に入っていたが、道路改良を延長したり、舗装修繕を加えたりすることで事業費が増加してきた部分について、起債を充てたいということで計画を変更するため

予算に関すること

令和８年度 補正予算

・議案第64号　令和８年度飛騨市一般会計補正予算（補正第２号）

16億727万１千円を増額、補正後の予算額は、206億6,165万３千円

・議案第66号　令和８年度飛騨市国民健康保険特別会計補正予算（補正第１号）

事業勘定の7,936万４千円を増額、補正後の予算額は、24億5,496万４千円、直営診療施設勘定の108万８千円を増額、補正後の予算額は２億838万８千円

・議案第67号　令和８年度飛騨市介護保険特別会計補正予算（補正第１号）

保険勘定の１億3,760万５千円を増額、補正後の予算額は、33億4,760万５千円

・議案第68号　令和８年度飛騨市国民健康保険事業会計補正予算（補正第２号）

資本的収入の400万円を増額、補正後の予算額は、8,864万８千円、資本的支出の715万円を増額、保険の予算額は、１億6,859万９千円

総 務 部

Q コミュニティーバス月ケ瀬線の廃止理由は

A: 年間利用者が 506 人と少ないため廃止する

企 画 部

Q ふるさと納税独自サイトの効果は

A: 手数料を約 11.5%から 5.5%に削減し、返礼品の充実を図る

市民福祉部

Q ＭＲＩ乳がん検診はどなたでも利用できるのか

A：今まで利用していなかった方にも利用できるよう調整中である

環境水道部

Q プラスチック類のゴミは全て出せるのか

A：基本的には全て出せるが、再利用のため汚れたものは洗って出し、落ちない場合は燃えるゴミに出す

農 林 部

Q 種を蒔くプロジェクト実施委託料は減額によって影響はないのか

A：随時、関係団体と調整しているので影響はない

商工観光部

Q 社宅整備促進補助金の地区はどこか

A：古川地区、神岡地区の計２件であり補助率は２分の１、上限 150 万円である

教育委員会事務局

Q 寄付金による山城サイン整備はすべての看板等の案内整備は終わったのか

A：道がない山城もあるので全ての整備は終わっていない

認定に関すること

令和７年度 歳入歳出決算

- 認定第１号　令和７年度飛騨市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第２号　令和７年度飛騨市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第３号　令和７年度飛騨市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第４号　令和７年度飛騨市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第５号　令和７年度飛騨市下水道汚泥処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第６号　令和７年度飛騨市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第７号　令和７年度飛騨市給食費特別会計歳入歳出決算の認定について
- 認定第８号　令和７年度飛騨市水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について
- 認定第９号　令和７年度飛騨市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について
- 認定第10号　令和７年度飛騨市国民健康保険病院事業会計決算の認定について

総　務　部

Q 不要物品の売却について、予定価格と落札価格の差が大きい。予定価格の見積もりに問題はないか。救助工作車やショベルローダの落札額は大きく、不要物品として妥当なのか

A：すべて更新が必要な車両等であり、あくまでも入札の結果であって問題はない

企 画 部

Q 保育園留学事業についての検証・分析は

A：保育園留学のサービス提供事業者の㈱キッチハイクに委託して進めてきたが、宿泊場所の確保や保育士の確保などに課題が多いことから事業を終了する

定例会の概要

市民福祉部

Q 保育士の確保は官・民とも大丈夫か

A：３歳以上児の減少、未満児の増加が見込まれる中、保育士数との整合を検討していく

環境水道部

Q 省エネ家電の買替や太陽光発電の補助制度の拡充はあるのか

A：補助対象はエアコン、冷蔵庫、照明器具である。来年度については今後検討する

農　林　部

Q 荒廃農地が増えているが対策は

A：農業委員会等で確認している。明らかに使えない所、耕作すれば使える所を見極め、農地として使えるよう推進している

商工観光部

Q 飛騨市食料品・生活応援セールはさるぼぼコインの還元だったが、誰でも手に入る商品券ではどうか

A：経済対策としては効果的でメリットもあった。今後マイナンバーカードの活用を検討する

基盤整備部

Q 雪作業員の確保と今後の課題は

A：現在は必要な人員を確保しているが、約 24％が 60 歳以上であり、高齢化が課題となっている

病院事務局

Q 医師･看護師の確保状況は

A: 人員不足が続いており、令和８年１月から１病棟体制で対応している

教育委員会事務局

Q 学校給食の提供体制に課題はないか

A：児童生徒数の減少や食材配送の困難化により、給食施設のあり方について５年以内をめどに検討する必要がある

討 論

※意見を出して論じ合うこと

認定第１号　令和７年度飛騨市一般会計歳入歳出決算の認定について　賛成者多数で可決

反対討論　籠山（こみやま） 恵美子（えみこ）議員

物価高騰対策が国の交付金頼みで市独自の支援がなく、水道料金の基本料金免除も打ち切られた。体育館エアコン未整備や基金の偏在・温存も問題で、市民福祉の向上を怠っているとして反対する。

賛成討論　中田（なかだ） 利昭（としあき）議員

給食費の公費負担や小学校の空調整備、道路除雪・橋梁点検など市民生活を支える事業を評価する。実質収支は黒字で、監査でも執行は適正と確認されたとして、改善点はあるものの認定すべきとした。

認定第４号　令和７年度飛騨市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について　賛成者多数で可決

反対討論　籠山（こみやま） 恵美子（えみこ）議員

家族介護応援手当などを、保険料を財源とする任意事業に移したことは財政規律に反する目的外使用だと批判する。不用額や準備基金を活用して保険料を引き下げるべきであり反対する。

賛成討論　住田（すみだ） 清美（きよみ）議員

高齢化で重度化が進む中、介護保険は適切な給付を行い、総合事業による重度化抑制にもつながっていると評価する。準備基金は報酬改定や保険料急騰への緩和措置に充てられる適正な積立であり賛成する。

議　案	佐藤	中田	小笠原	水上	上ヶ吹	森	井端	澤（議長）	住田	前川	野村	籠山	高原
第１号	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	×	○
第４号	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○	×	○

賛成：○　反対：×

報告に関すること

・報告第４号　債権の放棄について

上水道使用料などの私債権の放棄に関して報告するもの

・報告第５号　株式会社飛騨ゆいの経営状況報告について

令和７年度事業報告及び決算に関する報告と令和８年度事業計画及び予算に関する報告